

2009年8月26日

## HSBC 投信、「HSBC インド・インフラ株式オープン」を設定

HSBC 投信株式会社は、主にインドのインフラ関連株式に投資する追加型証券投資信託「HSBC インド・インフラ株式オープン」を新規設定致します。9月7日より募集を開始し、設定は10月1日を予定しています。

インド経済は、世界景気後退の中でも拡大を続けており、今後、財政出動などを梃子に更なる成長が期待されています。反面、インドのインフラ整備は遅れており、最近の世界経済フォーラムによる国際競争力報告書<sup>注1)</sup>では、インドのインフラの整備度合いは調査対象134の国・地域中90位にとどまっており、GDP（国内総生産）が世界第12位<sup>注2)</sup>にあるのとは対照的な結果となっています。インド政府は2012年までに5,140億米ドル（約53兆円）を投じ、電力、道路、通信、鉄道、灌漑、水処理、港湾等のインフラを整備する計画ですが、先般の総選挙での国民会議派率いる与党連合の圧勝、プロジェクト・ファイナンス・スキームの進展等によりこの実現の可能性は大きく高まっています。

インフラの固定資本形成のインドGDPへの寄与度は現在6%程度ですが、インド政府計画委員会（Planning Commission）はインドの成長維持のためには、これを2011/2012年度3月期までに9%にまで引き上げる必要があるとしています。即ち、インフラセクターはインド経済を大きく成長させるために今後数年にわたり、インド経済のGDP成長率を大きく上回る成長が必要とされているセクターであり、投資の観点からは中長期的に極めて高い投資効率が期待されています。

当ファンドの運用は、「HSBC インドオープン」（2004年11月30日設定）、「HSBC インド株式ファンド（3ヶ月決算型）」（2007年9月14日設定）と同様、HSBCの100%子会社であるHalbis キャピタル・マネジメント（ホンコン）リミテッドが実質的に行います。運用チームはHSBCグループのインド株式を15年以上にわたり運用してきており、当ファンドにおいてもHSBCグループが持つインド株式の運用ノウハウが十分に発揮できると考えております。また、「HSBC インド・インフラ株式オープン」は1年に1度決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

[次頁に続く](#)

## ファンドの特色

1. ファミリーファンド方式で運用を行います。
2. インドのインフラ関連企業の株式を中心に投資します。
3. 決算は年1回分配方針に基づき分配を行います。
4. マザーファンドの運用は、Halbis キャピタル・マネジメント（ホンコン）リミテッドが行います。
5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## 販売会社(予定) (50音順)

安藤証券、いちよし証券、エース証券、HSBC証券、SBI証券、香川証券、篠山証券、のぞみ証券、香港上海銀行、山形証券、リテラ・クレア証券

### 注記:

1: 国際競争力報告書とは、世界経済フォーラム（WEF）が、世界134の国と地域を調査対象として総合的競争力を発表しているもので、約1万2,000人以上のアンケートを基に算出されています。

2: World Development Indicators 2009、世界銀行

### HSBC グループ

HSBC グループの持株会社であるHSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる86の国と地域の約8,500拠点で顧客に対しサービスを提供しています。2009年6月末現在2兆4,220億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

### HSBC グローバル・アセット・マネジメント

HSBC 投信株式会社が属する HSBC グローバル・アセット・マネジメントは20の国と地域で個人及び機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBC グループの中における資産運用会社の総称です。アクティブ、クオンツ、ストラクチャード等のグループ内の運用能力と、マルチマネージャー機能を通じて多様かつ最適化された運用手法の提供によってお客様のニーズに応えます。HSBC グローバル・アセット・マネジメントとその関連運用会社の運用資産は2009年6月末現在、3,901億米ドルです。

次頁に続く

## ファンドのリスクと手数料について

当ファンドは実質的に海外の株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

○申し込み時に直接ご負担いただく費用

- 申込手数料（申込口数、代金、又は金額に応じ、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、上限3.675%(税込)

※詳しくは販売会社にご確認ください。

○換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金手数料はありません。

- 信託財産留保額 解約申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬（信託財産の純資産総額に対して年1.995%(税込)

○その他費用の詳細は当ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご確認下さい。

以上

## HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

（社）投資信託協会会員/（社）日本証券投資顧問業協会会員